

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	新版風環境 CFD ガイドブック刊行小委員会	主 査 名：富永禎秀 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：岩田 利枝 主 査 名：羽山 広文
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の国内外の研究動向を反映させた都市の風・温熱環境予測のための CFD ガイドブックの編纂及び刊行を進める。</li> <li>・初年度は、原稿を執筆し、第一稿を完成させる。また執筆者及び執筆者以外の委員が、全編を通してのチェックを行い、原稿の完成度を高める。</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：富永禎秀 (新潟工科大学), 幹事：菊本英紀 (東京大学) 委員：大風翼 (東京工業大学)・池谷直樹 (九州大学)・小野浩己 (電力中央研究所)・狭間 貴雅 (鹿島建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	無し	
2017 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1 .
講習会	1 .
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1 .
大会研究集会	1 .
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1 .
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	各執筆担当者が、分担に従って原稿を執筆し、まず第 1 稿をまとめ、執筆者が相互にチェックを行い、そのフィードバックを反映させた第 2 稿をまとめることができた。当初の活動計画に沿った成果が得られたと考えている。
委員会活動の問題点 ・課題	特に無し

- \* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- \* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

## 2017 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>各執筆担当者が、分担に従って原稿を執筆し、まず第1稿をまとめ、執筆者が相互にチェックを行い、そのフィードバックを反映させた第2稿をまとめることができた。当初の活動計画に沿った成果が得られたと考えている。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。